

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!  
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



腹ばいの姿勢で波に乗り、華麗にライディングする「ブローン」クラスの選手

### 波は障がいも国籍も越える

#### ■Japan Open Adaptive Surfing Championship2026

「Japan Open Adaptive Surfing Championship 2026」が5月29日から31日まで、静岡サーフスタジアムにて開催されました。

これは、障がいの有無に関わらずサーフィンを楽しむ「アダプティブサーフィン」の魅力を広く発信する国内最大級の国際大会です。5回目となる今年は、世界から約50人の選手が集い、市内からは加藤あすみさん(勝間田区)が出場。選手は障がい別の11クラスに分かれて波乗りの技を競い合い、観客からは大きな歓声と拍手が起きました。

### 色とりどりのアジサイが初夏を告げる

#### ■市の花「アジサイ」が市内各所で開花

市の花「アジサイ」が5月下旬から、秋葉公園(川崎区)や国指定文化財「大鐘家」(片浜区)など市内各所で咲き始めました。

大鐘家では、約1万坪の広大な敷地内に約35種類1万2千株のアジサイが植えられています。毎年5月下旬から7月上旬にかけて、ヒメアジサイやベニガクアジサイなどがピンクや紫、青色など、色とりどりの花を咲かせます。

訪れた人は、「咲き始めで満開ではなかったが、楽しめた。時期を見てまた来たい」と話しました。



大鐘家で市の花「アジサイ」を撮影する来場者(5月29日撮影)

### 茶娘・茶息子姿で新茶を販売

#### ■牧之原中学校生徒による新茶販売

牧之原中学校3年生が5月23日、東名高速道路牧之原サービスエリア(下り)で新茶の販売を行いました。

このお茶は、地元の保育園・小学校・中学校の子どもたちが、5月7日に学校茶園で摘んだ茶葉136キロを25キロに製茶したもの。茶娘・茶息子姿の生徒たちはサービスエリアの利用者に呼びかけ、310袋を販売しました。参加した生徒は「友だちや先生、手伝ってくれた人たちの協力で完売できて嬉しかった」と話してくれました。



自分たちが製茶に携わった新茶を販売する牧之原中学校の生徒



国指定重要文化財「大鐘家」でコスプレをする参加者

### 牧之原市×コスプレ=魅力発信!

#### ■まきコス2026

まきコス2026が5月23日と24日、市内で開催されました。

これは、アニメや漫画、ゲームなどの登場人物の衣装を着るなどして、その人物になりきる「コスプレ」の撮影会を通じて市の魅力を知ってもらうイベントです。

市内外から集まった170人の参加者は、さがらサンビーチや油田の里公園、カタショー、寺院など11カ所を巡り、市内の豊かな自然や文化財などを背景に、撮影を楽しんでいました。



来館50万人目となった小中澤さんご家族

### 6年目も図書館へいこっと!

#### ■図書交流館「いこっと」開館5周年記念イベント

市立図書交流館「いこっと」は5月17日、開館5周年記念イベントを開催しました。

これは、開館から5周年を迎えたことと、来館者が累計50万人に達したことを記念したもの。

セレモニーでは、来館50万人目への記念品の贈呈や、写真で「5年間のあゆみ」を紹介。イベントでは、相良高校生やボランティアによるお話し会や工作コーナー、「3ビズ」マルシェ、図書ボランティアによるリサイクル本販売、職員による本のカバーかけ体験などが行われました。

### 次世代に平和への誓いをつなぐ

#### ■牧之原市戦没者戦災死者追悼式

牧之原市戦没者戦災死者追悼式が5月22日、い〜らで執り行われました。

遺族会や関係者、相良あおぞら保育園の園児が祭壇に献花を行い、戦没者や戦災死者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。静霊奉賛会牧之原市支部の杉本支部長は「悲惨な記憶を次世代に語り継ぎ、『いつまでも安心して暮らせるまち』を目指す」とあいさつ。式典後には、第28代高校生平和大使と2025年長崎派遣代表の3人が、これまでの活動と平和に対する思いを発表しました。



手話を交えた歌を披露する高校生平和大使など

### 温泉帰りに新茶はいかが?

#### ■子生れ温泉マルシェ「新茶まつり」

子生れ温泉マルシェ「新茶まつり」が5月4日と5日、さがら子生れ温泉会館で開催されました。

当施設は「健康とふれあいを」をコンセプトに、健康増進や地域活性化などの拠点として、指定管理者が市民や観光客に親しまれるよう運営しています。イベントは4月から指定管理者が変わったことを記念し開催。飲食や物販の店舗のほか、新茶シーズンに合わせて、新茶の試飲や静岡牧之原茶を使ったケーキの試食会を行いました。今後も毎月イベントが開催される予定です。



大勢の人が行列を作った新茶やケーキの配布



協定を結んだ三寺代表と杉本市長

### 農・官・民で連携し放棄茶畑を再生

#### ■放棄茶畑の再生に向けた「農官民連携協定式」

市茶業振興協議会と「Re茶畑プロジェクト」(代表:株式会社FACT三等雑入CEO)は5月14日、牧之原市役所相良庁舎で、放棄茶畑の再生に向けた「農官民連携協定式」を行いました。

市では、担い手不足や高齢化などを背景に放棄茶畑が増加しており、課題解決に向けて農家と市、民間企業が連携。今後は、市が放棄茶畑の情報集約など、(株)FACTがプロジェクトのPRや企業とのマッチングなどの支援を実施。また、茶問屋とも連携し、商品の開発製造なども行う予定です。